

自然災害に備えよう

6月は土砂災害防止月間 ※

平成27年9月に、本市では関東・東北豪雨による土砂災害が発生し、家屋が倒壊するなど多数の被害がありました。

また、全国では平成28年4月に発生した熊本地震による土砂災害や、今年4月には大分県においてほとんど雨が降っていない中での大規模な斜面の崩れにより、甚大な被害がもたらされています。

このような、いつ、どこで起こるかわからない土砂災害から身を守るためには、日ごろから災害に備えることが大切です。

6月は土砂災害防止月間です。この機会に、自分自身の問題として、防災について考え、家族で確認してみましょう。



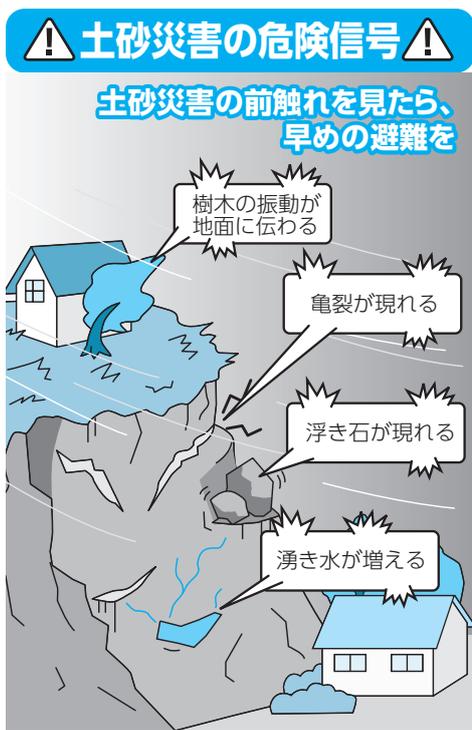
▲平成28年4月に発生した熊本地震に伴う土砂災害被害

自然災害に備えよう

自然災害には、台風や大雨などによる風水害や土砂災害、突発的に発生する地震などがあり、人間の力では食い止めることができません。被害を最小限に抑えるため、日ごろからこれらの災害に備え、正しい知識を持ち、準備しておくことが大切です。今回は、これから梅雨や台風の時期によって発生しやすくなる土砂災害に関する知識や自然災害が発生した際の準備・対策について紹介します。

土砂災害から身を守る

大雨が続くと、左のイラストの通り、がけ崩れなど



の土砂災害が発生しやすくなります。気象台が発表する土砂災害警戒情報に注意するなど、情報を把握し、非常用持ち出し品の事前準備や、安全な避難路を確認しておくなど、適切な対策

確認ください あなたの街のハザードマップ

ページ番号 1003241



▲土砂災害ハザードマップ

市では土砂災害の恐れのある区域や避難場所などの情報を掲載した「土砂災害ハザードマップ」を作成しています。河川課（市役所8階）や各區で配布している他、市HPからも閲覧できますので、避難場所や避難経路の確認などにご活用ください。

早めに避難を

や避難を行いましょ

洪水や土砂災害の危険が予想される区域内にお住まいの人は、災害の前触れを感じたときは、早めに自主避難することが大切です。

また、高齢者や病人、障がい者のいる家庭も、早めに避難しましょう。

土砂災害防災訓練

▽日時 6月3日(日)正午
午後4時

▽会場 小室公民館(宮山
田町)。

▽対象 宮山田町の一部の
住民。

※土砂災害防止月間 昭和57年7月の長崎大水害をきっかけに、土砂災害防止に関する国民の理解と関心を深めるために国土交通省(旧建設省)により、昭和58年に制定されました。

◎この特集の内容や、土砂災害について詳しくは、河川課☎(632)2686、宇都宮土木事務所☎(626)3164へお問い合わせください。

本文中に記載がないものは、原則として、対象外なため、費用は無料、申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HPはホームページ、Eメールはメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、参りつつのみや表参道スウェーア、地域コミュニティセンター、市民活動センター、申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。